

令和元年度 第3回 大阪府立東住吉総合高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：令和2年2月18日（火）14：00～16：00

場所：大阪府立東住吉総合高等学校TRYルーム

1. 開会

2. 学校長挨拶

3. 委員紹介

4. 協議

(1) 保護者からの意見書提出状況について : 意見書提出なし

(2) 学校教育自己診断について（別途資料あり） : 教頭から説明

(3) 分掌・年次報告 教務部、生徒指導部、進路指導部
保健指導部、総務部、生徒会部
3年次、2年次、1年次

(4) 平成31年度学校評価（案）について（別途資料あり） : 校長から

(5) 令和2年度学校経営計画「めざす学校像」
及び「中期的目標」（案）について（別途資料あり） : 校長から

☆委員からの意見等

(1) について

- ・意見書提出なし。各委員からの意見等も特になし。

(2) について

- ・「学校に行くのが楽しい」と感じている生徒が年々増えている。
- ・全体的に肯定感が上がっている。教員も工夫されていることが感じられる。
- ・かなり努力している。マイナス面についても気を抜かず、これからも頑張ってもらいたい。
- ・部活動についての数値が下がっているのが気になる。様々な要因があるが今後の課題である。
- ・生徒の意欲を上手く引き出している。
- ・PTA活動については、連絡事項が保護者に伝わりきれてなかったり、手紙を渡さない生徒もいる。

(3) について

- ・学年、分掌等できめ細やかな指導をいただいている。
- ・保護者が学校での生徒の様子を見る機会が増えると、保護者は子どもを見るチャンスになる。
- ・地域がもっと学校に参加できる地域交流の機会をもっと増やしてほしい。

- ・数字が上がっているところと下がっているところを見てほしい。

(4) (5) について

- ・全体的に肯定感が増加していて良くなっている。様々な改善がなされ教員も工夫されていることが感じられる。
- ・生徒会活動、文化祭、体育祭などの生徒主体の活動への肯定率は、もっと高くてもいいはず。
- ・この調子で頑張っていたきたい。
- ・キャリア教育で平野地域の製造業グループの社長との意見交換会の「フィールドコア平野」をさせてもらっている。リーダーの生徒や各係の生徒は係の仕事を自ら進んでやっており、生徒が主体的に取り組んでいる。
- ・学校が変わってきているを感じる。
- ・数値目標も大切であるが、利益を追求するわけではない。生徒のために考えることも大切。

☆ (5) については全員一致で承認された。

その他：特になし